



テーマ 食育

タウントーク

今月は **東区** です

あなたの街で 市長と語ろう

雄大な緑に包まれながら、和やかな雰囲気で行われた今回のタウントーク。札幌の食文化の発展に向けて、多くの意見が出され、時間が足りなくなるほどの盛り上がりを見せました。

東区タウントークメモ

- 実施日/7月28日(木)
- 会場/サッポロさとらんど (東区丘珠町584)
- 参加人数/約190人
- 発言者数/8人



食育とは?

自らの食を見つめ直し、正しい食生活の知識を習得・実践すること。また、地域の食文化を伝えはぐくむことも含まれます。あらゆる世代を対象に、生涯教育の一環として行われることが望まれます。(こぼやし)
(今回のパネリスト天使大学小林教授の説明より)

タウントークに関するお問い合わせは、区役所(1階)の総務企画課が市民の声を聞く課 ☎211-2042へ。内容は、市長のホームページ www.city.sapporo.jp/city/mayor/ からご覧いただけます。

食育は「未来への投資」

料理研究家 のむら 野村さん

食することは、自然から命をもらって子供たちの未来へとつないでいく投資。そのことを自覚するためにも、家族で作り、食べる家庭料理を見直す必要があるのではないのでしょうか。

市長から

家庭でも学校でも、一緒に食べることで分かること、教えられることがあります。市としても家庭料理を通じて、食事の楽しさ、食べ物に対する感謝の気持ちをはぐくんでいける環境づくりに努めていきたいですね。

牛乳の良さを 知ってほしい

ミルクの郷 さと ぐぼた 窪田さん

最近は牛乳を好まないお子さんが増え、残念に思っています。牛乳は適正な発育を支える基礎的な食品。学校教育の中でもっと良さを伝えてもらいたいです。

市長から

私はタマネギも牛乳も大好きです。札幌は本当に食べ物おいしい、恵まれた環境にあると思います。このことを誇りに感じながら、皆さんとともに札幌の作物をたくさん消費して、素晴らしい食文化を伝承していきたいと思います。

"地産地消"札幌産のタマネギを 札幌の市民が食べよう

植物育種研究所 おかもと 岡本さん

市全体の消費量を賅えるだけの生産量と、「札幌黄」という世界的なブランドもある札幌のタマネギ。こんなに素晴らしい財産があるのですから、もっと多くの市民に親しんでほしいですね。そのために行政と生産者は力を尽くしてほしいと思います。



農育にも目を向けて

体験農園で、子供たちは自分の栽培した小麦からできたパンに大いに感動していました。このような体験を通じた教育、つまり農育が子供たちにとって大切だと思います。

市でも子供の農業体験活動を行っていますが大変好評です。こうした機会や、さとらんどなどの農業体験施設を活用し、農業への理解を推進していきたいと思います。

市長から

リサイクルの推進を

生ごみの堆肥化や、紙パックのリサイクルなど、地域でゴミ減量活動を行っています。市としても、リサイクル推進に力を入れてほしいと思います。

生ごみは家庭ごみ全体の約1/3。このリサイクル効果は大変大きいと思います。ごみ減量は効果を実感するまで時間がかかるといわれますが、あきらめずにじっくりと取り組んでいただきたいですね。市も精いっぱい支援していきます。

市長から

9月のタウントークは白石区で開催します。

